

## 【essentiaサービス仕様】

## 1 サービス提供内容

項目	概要	詳細
Webログ取得用ビーコン	essentiaにWebログを蓄積するためのビーコン（aqタグ）	タグを受け、essentiaのバケットにデータ転送する機能一式を含む。
データ転送	外部システムからのデータ転送およびessentiaへのアップロード	FTP/SFTP等。
クラウドリポジトリ	物理容量は標準で1TBまで（オプションで容量追加可能）	"Amazon Web Services"(以下AWSと記載)内のAntuit管理領域にリポジトリを作成します。 ※利用中のAWSの"Amazon Simple Storage Service"(以下Amazon S3と記載)にリンク可能。 ※他のユーザとの共有設定が可能。
ログ管理機能	複数種類のログを一元管理	File ExploreでAmazon S3内のファイルにアクセス可能。 S3 Browserなど外部ツールの利用が可能
データ処理機能	essentiaのスク립トによるデータ加工処理	バッチ処理。並列処理も可能。
レポート機能	①トレンド分析 ②ユニークユーザ分析 ③広告アトリビューション分析 ④CVパス分析	レポート機能はカスタマイズが可能（有償）。

## 2 SLA

項目	詳細	備考
サービスプラットフォーム	サービスプラットフォームを提供するサービスプラットフォーム事業者がその時点で適用するSLAに準拠するものとします。	Antuitがessentiaサービスを提供するにあたり、その基盤となるサービスを提供する第三者のサービスプラットフォームを意味します。AWSおよびAmazon S3を含みますが、これらに限定されるものではありません。AWSおよびAmazon S3に関連する最新のSLAについては、 <a href="http://aws.amazon.com">http://aws.amazon.com</a> を参照下さい。
essentiaソフトウェア	サービスプラットフォーム上で稼動するessentiaのソフトウェアに基本機能上の不具合が発生した場合、速やかに不具合を修復・回避するための商業上合理的な努力を行うこと。	

※基本サービスについてはAntuit所定の「essentiaサービス規約」（<http://www.antuit.co.jp/utility/>）が適用されます。

※基本サービス以外のサービスについてはAntuit所定の販売・サービス条件書（<http://www.antuit.co.jp/utility/>）が適用されます。

※契約終了日から30日以内にAntuitが提供したタグ（aqtag等）をサイトから削除いただけない場合、利用契約が存続しているものとみなし、Antuit所定の料金等が課金される場合があります。

※Amazon Web Services, Inc.が提供する"Amazon Web Services"("AWS")または"Amazon Simple Storage Service"("Amazon S3")の価格に変更があった場合、上記価格は改訂される場合があります。

※"Amazon Web Services", "AWS", "Amazon Simple Storage Service","Amazon S3"は米国その他の諸国における、Amazon Web Services, Inc.またはその関連会社の商標です。

(2016年7月1日現在)

【essentiaサービス価格表】

Plan	レポート	DataStorage	プロジェクト数	インスタンス数	月額費用
Webdata Managed	なし	1TB	1	1	¥150,000
Webdata Analytics	あり	1TB	1	1	¥200,000
Bigdata Managed	なし	1TB	1	1	¥250,000
Bigdata Analytics	あり	1TB	1	1	¥300,000

※消費税別

オプション	単位	月額費用
ストレージエリア追加	1TB単位	¥20,000
インスタンス追加	1インスタンスあたり	¥30,000～

※消費税別

◆サービス提供条件◆

1. Webdataプランは、Aqタグによるデータ収集、Webサーバのログ、各種アクセス解析ツールが出力するログの収集と分析等、Webログのみを対象としたプランになります。
  2. Bigdataプランは、蓄積するログやデータの種類の制限がないプランになります。ただし、加工対象の各種ログの入手にかかる費用は上記金額には含まれません。
  3. 全てのプランにデータ収集ツール群の利用を含みます。(FTP/SFTP、aqタグ、スマホアプリ用SDK等)
  4. 全てのプランにデータ処理に使うインスタンスが1つ含まれます。データ処理のインスタンスはオプションで追加が可能です。管理用のインスタンスは各プランに標準で含まれます。
  5. データ容量や処理速度、分析要件によって管理用のインスタンスのスペックアップが必要な場合、個別見積もりになります。
  6. 各プランのインスタンスはレポートありのプランではレポートデータの処理、レポートなしのプランではバッチ処理で使用します。
  7. レポートなしのプランにはバッチ処理結果のファイルを確認・ダウンロードするための管理画面の提供が含まれます。
  8. データ処理を別々で実行したり、分析レポートを分けて閲覧したい場合、プロジェクトを分ける必要があります。(例：A社用レポートとB社用レポートを分ける等)
- ※プロジェクトとは一定のデータ処理や分析方法を定義し、処理結果をまとめて閲覧できるグループのことを指します。
9. 同一プロジェクト内での同時クエリは標準では1になります。ただし、オプションで追加が可能です。
  10. 同一プロジェクト内で別ユーザの集計完了を待っている間、前の実行結果をブラウザ上で閲覧することは可能です。
  11. 以下の要件がある場合、要件別にインスタンスの追加が必要になります。(標準の1インスタンスでは実行できません)
    - ①レポートありのプランでバッチ処理を追加
    - ②レポートなしのプランでレポート閲覧を追加
    - ③別プロジェクトを追加 (データ処理を分ける)
    - ④同一プロジェクト内で実行できる同時クエリを追加
    - ⑤同一時間帯に複数のバッチを並列実行
  12. バッチ処理用のインスタンスは複数のプロジェクト間での共有が可能です。ただし、同時に実行できるバッチは1になります。
  13. インスタンスの標準リソースは8GB memory、2Coreになります。インスタンスのスペックアップが必要な場合は、個別見積もりになります。
  14. インスタンス追加 (オプション) の月額費用は標準のインスタンスをレポート閲覧用途で追加する想定提供価格となっています。以下のケースは個別見積もりとなります。
    - ①インスタンスのスペックアップを行っている場合
    - ②バッチ専用インスタンスを追加する場合
  15. データ処理速度やロードするデータ容量のアップが必要な場合、並列処理用途のインスタンスを追加 (オプション) することができます。
  16. ストレージエリアはS3上に蓄積するデータ量で試算します。ストレージエリアは追加が可能です。(オプション)
  17. 登録可能なユーザ数に上限はありません。1ユーザを複数のプロジェクトに関連付けすることも可能です。
  18. 初期費用は、データの種類や収集方法およびデータの処理や分析要件、レポート画面のカスタマイズの有無、等による個別見積もりとなります。